

4/23 毎日

## 健保組合 8割赤字

### コロナで給与減が影響

健康保険組合連合会（健保連）は22日、大企業の社員らが加入する健保組合の2021年度の収支について、8割が赤字との見通しを公表した。新型コロナウイルス感染症による企業の業績悪化で、保険料収入が減るため。平均保険料率は、前年度比0・01㌽増の9・23%となる。

13387組合の財政状況を予算ベースで分析した。赤字は前年度より169組合増えて1080組合（78

%）。黒字の307組合（22%）を大幅に上回った。収支は5098億円の赤字

で、前年度の予算段階の2306億円から倍増した。

内訳では、収入の大半を

占める保険料が8兆60億円（前年度比2167億円減）。

保険料は、賞与や給与の額を基に算定されるため、従業員の賃金水準の低

下が影響したとみられる。  
支出は、保険給付分が4兆2980億円（同654億円減）にとどまった。コロナによる受診控えが背景にあるとみられる。一方、高齢者医療への拠出金などが3兆6627億円（同1289億円増）と、伸びを見せていている。【原田啓之】